



議会だより



ことしの宮中の新嘗祭に献上する献穀斎圃抜穂祭が9月25日、矢水町の米田淳一さん（小矢部市農業委員長）の田で行われ、刈女が献穀田に入り、黄金色に実った稲穂を丁寧に刈り取りました。11月23日の新嘗祭には米1升分が献上されます。

9月定例会の概要

9月5日から22日までの18日間を会期として開催しました。

平成23年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）など議案5件、最終日には、請願1件、議員提出議案1件及び人事案件3件が上程され、計10議案を原案のとおり可決しました。

なお、平成22年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案については、新たに設置しました決算特別委員会にて、継続審査とすることになりました。

また、健全化判断比率など2件の報告、陳情2件の処理報告を行いました。

目次

概要	1
審議経過	2
人事案件	3
意見書（議員提出）	4
請願・陳情の処理状況	5
議会議員構成等	6
可決議案等	7
代表・一般質問	8
傍聴のお知らせ	9
議長交際費	10
委員会報告	11
12月定例会の日程	12
会務報告	13
編集後記	14

9 月 定 例 会 の
審 議 経 過

5日	本会議
6日	本会議
7日	本会議（提案理由説明）
	全員協議会
8日	議案調査日
9日	議案調査日
12日	議案調査日
13日	議会運営委員会
	本会議（代表・一般質問）
15日	行財政改革特別委員会
	民生文教常任委員会
16日	まちづくり特別委員会
	産業建設常任委員会
20日	決算特別委員会
	総務常任委員会
21日	委員長会議
	議会運営委員会
22日	全員協議会
	本会議（質疑・討論・表決他）

特 別 委 員 会 の 設 置

◎ 決算特別委員会

平成二十二年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など、決算認定八議案を審査するため、十名で設置しました。

（委員構成は次頁を参照）

人 事 案 件

◎ 小矢部市教育委員会委員の任命同意

ふるむら 古村 正明氏（西町）

◎ 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

さかた 坂田 行弘氏（八和町）

◎ 人権擁護委員の候補者の推薦

しぶや 澁谷 幸子氏（西中野）

意 見 書 （ 議 員 提 出 ）

◎ 北朝鮮による日本人拉致問題の

早期解決を求める意見

国会及び政府に対して、地方自治法第99条の規定に基づき、平成23年9月22日に意見書を提出しました。

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

次のとおり、請願・陳情の処理を行いました。

受理番号	件 名（請 願 ・ 陳 情 者）	審査結果
請願 第1号	「国家公務員の給与削減法案の撤回を求める意見書」提出を求める請願 （富山県労働組合総連合 議長 増川利博）	不採択
陳情 第3号	小矢部市観光協会に対する財政的支援についての陳情書 （小矢部市観光協会 会長 中嶋秀明）	採 択
陳情 第4号	「桜町縄文遺跡展示館」の建設及び桜町遺跡出土品の「国の重要文化財」の指定に向けた働きかけについての陳情書 （子撫地区振興会 会長 山田與嗣ほか2名）	採 択

議会議員構成

議長	中村 重樹	副議長	石田 義弘
総務常任委員会	委員長 嶋田幸恵 島田一郎 沼田信良	副委員長 白井 中 尾山喜次	
民生文教常任委員会	委員長 砂田喜昭 藤本雅明 中村重樹	副委員長 吉田康弘 多田 勲	
産業建設常任委員会	委員長 石田義弘 福島正力 中西正史	副委員長 義浦英昭 宮西佐作	
議会運営委員会	委員長 沼田信良 吉田康弘 中西正史	副委員長 嶋田幸恵 多田 勲 宮西佐作	
行財政改革特別委員会	委員長 宮西佐作 義浦英昭 石田義弘	副委員長 島田一郎 沼田信良 中西正史 多田 勲	
まちづくり特別委員会	委員長 尾山喜次 吉田康弘 藤本雅明	副委員長 嶋田幸恵 白井 中 福島正力 砂田喜昭	
決算特別委員会	委員長 宮西佐作 義浦英昭 吉田康弘 島田一郎 尾山喜次	副委員長 嶋田幸恵 藤本雅明 白井 中 砂田喜昭 福島正力	
議会だより編集委員会	石田義弘 嶋田幸恵	中村重樹 砂田喜昭	

議会選出委員等

監査委員	中西正史
小矢部川中流水害予防組合議会議員	藤本雅明 白井 中 石田義弘
砺波地方衛生施設組合議会議員	島田一郎 中村重樹 中西正史
砺波地方介護保険組合議会議員	藤本雅明 嶋田幸恵 沼田信良 砂田喜昭
砺波地域消防組合議会議員	石田義弘 嶋田幸恵 中村重樹 多田 勲
高岡地区広域圏事務組合議会議員	吉田康弘 尾山喜次 宮西佐作
民生委員推薦会委員	藤本雅明 石田義弘
国民健康保険運営協議会委員	嶋田幸恵 中西正史 砂田喜昭
上水道審議会委員	藤本雅明 福島正力 沼田信良
市勢総合計画審議会委員	石田義弘 嶋田幸恵 中村重樹 砂田喜昭
公害対策審議会委員	義浦英昭 吉田康弘 島田一郎
都市計画審議会委員	吉田康弘 藤本雅明 嶋田幸恵 沼田信良 尾山喜次
交通安全対策協議会委員	中村重樹
有線テレビジョン放送番組審議会委員	中村重樹
寿永荘運営委員会委員	石田義弘 嶋田幸恵 砂田喜昭
小矢部市土地開発公社理事	義浦英昭 吉田康弘 島田一郎
財団法人クロスランドおやべ理事	藤本雅明 白井 中 福島正力
社会福祉法人小矢部福祉会理事	中西正史
社会福祉法人清楽会理事	尾山喜次
農業委員会委員	中村重樹 尾山喜次 砂田喜昭

9 月定例会で可決された議案

(補正予算)

- 議案第37号 平成23年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)
 議案第38号 平成23年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
 議案第39号 平成23年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

(条例の制定)

- 議案第40号 小矢部市立岩尾滝くつろぎ交流館条例の制定について

(条例の一部改正)

- 議案第41号 小矢部市税条例等の一部改正について

(追加議案・議員提出)

- 議員提出議案第7号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

(追加議案・人事案件)

- 同意第3号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について
 同意第4号 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について

9 月定例会で否決された動議

(追加動議)

- 動 議 議長不信任動議

9 月定例会で継続審査とされた決算認定議案

(決算認定)

- 認定第1号 平成22年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
 認定第2号 平成22年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
 認定第3号 平成22年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
 認定第4号 平成22年度小矢部市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算
 認定第5号 平成22年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
 認定第6号 平成22年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
 認定第7号 平成22年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
 認定第8号 平成22年度小矢部市水道事業会計決算

代 表 質 問

創生会 嶋田 幸恵 議員

◎小矢部市における災害対策 2025年

【問】東日本大震災を受けて、災害対策として力を入れることは何か。

【答】本市は津波による直接的な被害はないと考えているが、原子力災害については、国の*EPZの見直し、県の防災計画の見直しを踏まえて、本市の地域防災計画の見直しが必要である。また、地域住民同士の助け合いが重要であり、自主防災会の育成や食料品等の備蓄品を完備したい。

【問】災害では消防団員や自衛隊員の活動が大変心強かったが、消防団員の現状と確保対策はどうか。

【答】消防団員は減少傾向にあることから、事業所の積極的な協力を求めてきた。事業所の理解が得られるようないろいろな応援制度を検討し、可能なものから実施したい。

【問】原発事故を受けて、脱原発についてはどう考えているのか。

【答】長期的には太陽光、風力、地熱といった再生可能エネルギーの比率を大幅に高め、原子力や二酸化炭素問題がある化石燃料への依存度を下げていくべきだと考えて

◎女性職員の管理職登用に 5年

【問】女性職員の管理職登用率は低いと言わざるを得ないが、年齢経験といった能力が生かされていないのではないか。

【答】管理職には様々な能力が求められるっており、職員を適材適所に配置している。女性の生活感に立つたきめ細やかな視点は欠かすことができないものであり、女性職員の参画を大いに期待しているところである。なお、県内10市の中では女性の管理職登用率は3番目である。

◎介護保険事業について

【問】居宅サービスが大変伸びており、このままでは介護保険料を上げざるを得なくなるが、どう考えているのか。

【答】介護保険料は改定ごとに増額となつていくのが現状である。平成24年以降の保険料額は、今後、砺波地方介護保険組合において、サービス量の見込みを立て、3年間の介護給付費を推計した上で組合議会において決定されると考えている。

【問】要介護度別の構成比として、要介護2から5の比率は、全国で56.1%、砺波地方介護組合では73.3%に達しており重度認定者率が高いが、施設待機者の対応はどうか。

【答】平成23年4月1日現在の入所申込者のうち、要介護度4及び5の待機者は31人である。平成23年度は高齢者認知症グループホームが1施設、小規模多機能型居宅介護施設を来春開設に向けて整備を予定している。

【問】地域支援事業の現状と取り組みはどうか。

【答】介護予防事業、包括的支援事業、任意事業の3事業は平成18年度に創設されたもので、その事業内容について「包括ケア調整連絡会議」で情報交換している。事業評価については、しっかりと検証、精査をし、組合議会で議論したい。

【問】包括支援事業の人件費の割合が多いことをこれまでも指摘しているが、それで支援事業を充実しはどうか。

【答】構成3市の包括支援事業は、各市にそれぞれの特徴があるが、本市の人件費割合は一概に高くはない。

各市によって事業内容は違うが、一律的に介護予防事業が他市に比べて大きく劣る、かつその分の人件費が増えているとは言えない。

◎産科医の確保について

【問】産婦の負担軽減のため、出産等に対する交通費助成事業の実施状況はどうか。

【答】平成22年度から産婦が検診や実子出産のために病院へ行かれる場合の交通費を助成しており、206人の方が利用している。

【問】どのような支給の仕方をしていくのか。

【答】母子手帳の交付等の際に、手続きをとってもらっている。

【問】産科医確保のための対策・対応はどうか。

【答】県、市長会を通じて、国に対し医師の増員対策の要望をはじめ、北陸中央病院や公立学校共済組合本部関係機関に対しても、産科医確保について力強くお願いをしている。また、現在さまざまな方や制度について調査・研究をしており、小矢部市出身の医学生に対し、市長から直接呼びかけも行うなど、何とか安心して子どもを産める医療体制の整備に努めたい。

* EPZ……防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲

新風会 義浦 英昭 議員

◎市制50周年記念事業について

【問】50周年の節目を市民の皆様と喜び合い、限らない市勢の発展を願うための記念事業をすべきだと思

【答】記念式典は平成24年8月1日にクロスランドおやべで開催する。具体的な記念事業の内容は、現在、各課や関係団体で検討しており、その報告を受けるとともに、市民参加事業や各種団体行事との連携、冠の使用なども併せて、今後庁内の検討委員会で精査し実施したい。

【問】50周年事業を今後の市勢発展の起爆剤にすればよいのではないかと。また、まちづくりを通しての人材育成の場になるのではないかと。

【答】記念事業を「小矢部ルネッサンス」と位置付け、小矢部再生へ力強く邁進していきたいと思っており、ぜひ市民の皆さんにもこの事業に参画をしていただきたい。

事業全体の中で、公演実現に向けて取り組んでいきたい。

◎第6次総合計画の進捗状況について

【問】市民生活の質の向上を目指すための主な施策の取り組み状況と今後の進め方について伺う。

【答】石動小学校改築事業をはじめ、こども医療費助成対象者の中学生までの拡充、空き店舗対策への助成制度、県内トップレベルの定住促進施策、水道料金の引き下げや浄化槽への助成の拡充などによる水洗化の推進、おやべ型1%まちづくり事業の実施による協働のまちづくりを推進など、各種施策に力強く取り組んでいく。また、10月に第2回目「市民満足度調査」を実施し、今後のまちづくりに役立てたい。

◎並行在来線について

【問】国、県、JR西日本に対し、具体的に何を要望しているのか。

【答】富山県並行在来線対策協議会で決定された基本方針に基づき、新会社へ移行後も鉄道を利用する市民の利便性低下や費用負担が増加しないよう支援の拡充を求めている。また、新会社設立に伴う資本金の負担額についても、過度の

負担とならないよう併せて要望する。

【問】現段階での取り組み状況はどうか伺う。

【答】県市長会を通じて、国に対して事業用資産の移管に伴う財政支援、貨物線路使用料の見直しなど、地方負担の軽減について検討を求めたい。また、市民の利便性低下や費用負担の増加につながらないよう、今後も積極的に働きかけていきたい。

【問】今後の協議の進め方について、市としてどのように考えているのか伺う。

【答】先般、JR西日本に対し、特急の停車本数の改善について要望した。今後の鉄道利用者の減少を食い止めるためにも、本市が進めている石動駅南区画整理事業によるパーク・アンド・ライドの推進に努めたい。

◎石動駅南口の利用について

【問】石動駅南土地区画整理事業が平成27年度末の完成に伴い、駅南口・ターミナル及び駐車場の整備が完了する予定だが、駅南口改札の設置について進展があったか伺う。

【答】本事業は、平成26年度に整備工事が完了し、平成27年度には換地業務を行うこととしている。ま

た、平成23年度までの進捗率は39%で、順調に推移をしている。平成26年度には駅南広場も完成を予定していることから、石動駅の南口の利用を早期に行うため、JR西日本や新しく組織される並行在来線運営会社と協議を行うことが必要である。

【問】現在の石動駅を改修し、橋上駅化する計画案が発表されており、具体的な計画策定に向け、議論のたたき台として市民から広く意見を聞くとのことだが、どのように実施するのか伺う。

【答】平成23年3月に南北自由通路橋上駅舎など3案の計画を示したが、駅南口改札設置の計画案を含め、平成24年度にはパブリックコメントを実施し、広く市民の意見を求めている。

【問】平成23年9月定例会の補正予算で石動駅周辺整備計画策定事業費が計上されているが、どのように進める予定なのか伺う。

【答】石動駅南口利用に関しての支障物件の調査、法的条件整理などを行い、整備計画案について検討する。今後は、この整備計画案をもとに、JR西日本などと協議を進めていくことにしている。

一般質問

◎質問者 白井 中 議員

【問】すべての市民を満足させることが、市全体として質の高い行政サービスにつながるのではないかと、全職員を対象とした接遇講座など研修することがサービスの向上を図る第一歩ではないか伺う。

【答】職員の接遇の質にばらつきがあつてはならないので、平成22年度に「小矢部市接遇マニュアル」を作成し、全職員を対象とした接遇研修を実施した。今後とも、本マニュアルの習熟度の向上に加え、市民への説明能力や説得能力などの習熟に向けた接遇研修を計画的に実施したい。

【問】職員がモチベーションを高め、生き生きと働く職場にするため、次世代を担う若手職員が失敗を恐れず、何事にも果敢に挑戦する職場づくりが重要ではないか伺う。

【答】若手職員を育成することは非常に重要なことから、職員提案制度の導入により、若手職員の研究心、職務意識の高揚を図り、行政運営への職員参画を促している。また、自発的に行政課題を研究することや、専門的な知識・能力の開発支援のため先進地への派遣研修を行っている。

【問】いつ起きても不思議でない自然災害の恐ろしさに対して、防災・減災を前向きにとらえて精力を傾けることが大切だが、当局の姿勢は危機感が少し薄いのではないかと。

【答】防災・減災の意識を高めるため、民生委員など福祉関係者や防災担当者などの皆さんの意見を聞き、「高齢者要援護者マップ」の作成に取り組む。また、これまで自主防災会の研修を開催し、多くの市民の方々が参加している。今後とも減災と防災力向上に十分な意識、知識、技能を有するリーダーの育成に努めたい。

【問】姉妹都市10周年の節目を機に、沼田町との経済交流をはじめ、幅広い交流をさらに弾みをつけて推進したらどうか伺う。

【答】本市と沼田町の交流事業は、これまで青少年交流やJ/Aを通じた農産物の販売を中心に積極的に交流を行い、大きな成果を上げてきている。節目を機に、両市町職員による地域振興事業の情報交換や経済団体間の交流の推進など、さらに発展させることが重要と考えている。

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】エネルギーの地産地消とバイオマスタウン構想について伺う。

【答】稲葉山山頂付近の風力発電は、ほぼ目標に近い発電量が得られており、今後、民間企業により新たな事業が実施されれば、事業の推進に協力したい。水力発電設備は、初期投資や維持管理、権利関係の調整があるが、実現の可能性を調査・検討していきたい。

バイオマス関連事業は、国の事業仕分けを受け、補助制度は廃止された。バイオマス活用推進計画の策定は、国の動向を見極めたい。

【問】小学校耐震化を平成27年度までに完了させられないか。

【答】耐震化が必要な学校は、現在改築を進めている石動小学校のほか、大谷小学校の校舎及び屋内運動場、東部小学校の校舎である。国の方針である平成27年度までに耐震工事が終了できるか、総合計画の中で優先的に検討したい。

【問】住宅リフォーム制度の拡充について伺う。

【答】旧基準の建築物は、県事業により耐震診断費用の9割を富山県が負担する。また、診断の結果、倒壊の危険性が高い住宅改修には、



工事費の3分の2以内の60万円を上限に補助を実施している。制度内容の拡充や補助金の増額などは、個人資産に対する公金の投入する問題もあり、慎重に対処したい。

【問】志賀原発については、「北陸電力との安全協定の締結」、「プルサーマル計画への不同意」、「2号機を再稼働する際の本市への同意要求」の3つを明確にすべきと思ふがどうか伺う。

【答】安全協定は、EPZの範囲に含まれれば北陸電力と協議をする。プルサーマル計画は、国で対応することであり、今後の国の政策を見守っていく。再稼働は、安全対策はもとより、住民への説明責任が条件であり、住民説明会等の開催を北陸電力へ要望する。

【問】放射線測定周期と体制はどうか伺う。

【答】測定器が納品されれば、市職員が市役所、小中学校、保育所などで定期的に測定し、ホームページで公表する。

*その他、次の質問がありました。「下水道計画の見直し」、「公契約条例と入札・契約制度の改善」、「司書教諭の配置と司書職員の常勤化」について

一 般 質 問

◎質問者 尾山 喜次 議員

【問】東日本大震災を踏まえた防災対策の現状と今後の対策について伺う。

【答】原子力災害は国でE.P.Zの見直しが行われるものと考えており、一方で県の防災計画の見直しも行われる。本市ではその見直しを受けて地域防災計画を見直し、災害への備えをしたい。また、液状化現象対策として、「地震液状化マップ」を作成し、市民へ周知を図りたい。

【問】行政視察した輪島市では、防災士を養成されていたが、高齢者や子供たちへの防災教育をどのように考えているのか伺う。

【答】防災指導員の養成・育成に努めるとともに、防災訓練などいろいろな機会を通じて、市民へお知らせしたい。

【問】石動駅南土地画整理事業の進捗状況と問題点について伺う。

【答】平成27年度事業終了に向け施工中である。平成23年度末の進捗率は、事業費ベースで39%を予定している。南北自由通路は、重要な事業と考えており、今後、都市計画決定などの手続きを進める上で、JR西日本や新たな運営会社との協議が必要である。また、駅

南口基本計画を策定し、早期に駅南口利用についても、協議を進めたい。

【問】石動駅を中心とした街づくりについて伺う。

【答】石動駅南土地画整理事業は、本市の新たな顔となる石動駅南エリアの利便施設の整備や集客施設への誘致に加え、駅前の既存商店街への回遊性を高める街づくりが最も重要であると考えている。今後、広く市民のご意見をいただき、着実に事業を実施したい。

【問】全国縄文シティサミットの開催と今後について伺う。

【答】縄文遺跡を活用した魅力あるまちづくりの方策について協議することを目的に開催されるものであり、今後の地域間交流のあり方や未来を担う子供たちに伝える方策を考えていきたい。また、義仲・巴の大河ドラマの誘致や特産品など、小矢部市のPRにも努めたい。

【問】桜町遺跡の常設展示館の設置について伺う。

【答】常設展示は、小矢部ふるさと歴史館と桜町JOMONパークの2箇所あり、当分の間は常設展示の施設として十分に活用しているものと思っている。

◎質問者 藤本 雅明 議員

【問】防災・緊急メール配信サービスの状況と改善について伺う。

【答】配信サービスは平成23年7月から開始し、ホームページや広報おやべで周知を図り、146名の方が登録されている。配信内容は、気象警報、水防警報など緊急を要する情報であるが、その他にも担当機関が独自で情報発信を行っていることから、情報発信の一元化などを検討したい。また、エリアメールを平成23年9月からサービスを開始しており、防災対策の基本となる情報伝達手段として、市民へ十分周知したい。

【問】本市における図書館に親しむ仕掛けや図書館司書の役割について伺う。

【答】朝の読書タイムを利用して図書委員が低学年の子供たちに読み聞かせを行っている。また、図書委員が図書クイズやおすすめの本を紹介するなど、機会を持っている。平成23年度から全小中学校に配置した図書館司書には、図書館の有効な利用を目指し、研修を強力に進めている。

【問】本市の公共施設利用料金はどうのように設定されたのか、現状において妥当なのか。将来の負担を

軽減できるように、受益者負担を考え、市民が平等に行政サービスを受けられるようにして欲しい。

【答】施設利用は、部屋の広さやサービスの内容、減価償却費や市の他施設、近隣市の類似施設の料金の状況などを参考として設定しており、比較しても大きな差はないと考えているが、近隣市の実態を調査し検討させていただきたい。

【問】本市の高齢化率は30%に迫るうとしており、適正な対処と自らの力を取り戻すため、介護予防健康教室が開催されているが、その状況と効果について伺う。

【答】閉じこもり予防や運動機能向上などの介護予防に役立つ基本的な知識の情報提供や体験教室を実施している。特に平成22年度からは、認知症予防のための脳トレ講座を開講し、楽しみながら介護予防に取り組んでいる。平成22年度の実施回数は138回、参加者は3,410人である。本市の介護を必要とする高齢者の割合は、平成23年8月末現在、16.2%であり砺波地方介護保険組合の他市に比較すると1〜2%下回っており、若干効果が現れているものと考えている。

一般質問

◎質問者 吉田 康弘 議員

【問】本市の少子化、高齢化の現状と将来予測をどのように想定しているのか伺う。

【答】平成23年8月末現在の人口の割合を5年前と比較すると年少人口の割合は0.7%減少に対し高齢人口の割合は2.4%増加しており、少子高齢化が進展している。今後の予測は、国立社会保障・人口問題研究所が試算した将来人口推計によると、平成32年には年少人口は2.5%減少し、老年人口は9.5%増加すると推計されており、さらに少子高齢化が進むと予測されている。

【問】道路、橋などの公共財産に対する老朽化対策はどのような状況にあるのか伺う。

【答】道路については、パトロールの際に、道路施設の確認や住民からの連絡を受けての現地確認を行い、適正な道路機能の維持に努めている。また、橋梁については、平成22年度から予防保全として、橋長15メートル以上の62橋について調査点検業務に着手している。さらに、平成25年度に長寿命化修繕計画を策定することとしており、重要性や橋梁の老朽度に応じて、補修・維持工事を行っていく。

【答】施策の成果としては、定住促進助成金は、平成22年度転入者数の12世帯40人に対し、平成23年8月現在で8世帯25人である。定住促進賃貸住宅家賃助成金は、平成22年度の24世帯40人に対し、平成23年8月現在で18世帯36人である。転入者数の推移は、平成22年8月までの204人に対し、平成23年8月の22人と約9%増となっており、施策成果が徐々に現れていると感じている。



12月定例会の日程

- 7日(水) 10時 本会議(提案理由説明)
- 8日(木) 議案調査日
- 9日(金) 議案調査日
- 12日(月) 議案調査日
- 13日(火) 9時 議会運営委員会
- 14日(水) 10時 本会議(代表・一般質問)
- 15日(木) 10時 行財政改革特別委員会
- 16日(金) 10時 まちづくり特別委員会
- 19日(月) 10時 総務常任委員会
- 20日(火) 14時 委員長会議
- 21日(水) 10時 議会運営委員会
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論・表決)

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

市外からの行政視察

4件 34人

年月日	視察者	視察項目	人数
23.6.28	山形県鶴岡市総務常任委員会	定住促進対策について	10人
7.28	群馬県板倉町産業建設生活常任委員会	議会基本条例について	6人
8.3	福井県越前町文教厚生常任委員会	小矢部野外運動広場について	8人
8.5	富山県砺波市環境防災対策特別委員会	風力発電について	10人

小矢部市議会議長交際費について

議長交際費は、市議会の円滑な運営のため、議長が市議会を代表して行う外部の個人または団体との交際に要する経費として支出を行っています。支出状況については、情報公開請求制度に基づいて公開してきました。

平成23年度支出分からは、議会交際費支出状況をホームページに掲載を予定しており、議会交際費のより積極的な情報提供に努め、市議会の役割を遂行していきます。

■ 趣 旨

小矢部市議会では小矢部市議会議長交際費（以下「議長交際費」という。）の適正かつ公平な執行を図るため、その支出基準を定めています。小矢部市議会議長（以下「議長」という。）が、小矢部市議会を代表し、議会運営に必要な外部との交際上特に必要と認める場合に、予算の範囲内で支出しています。また、その支出項目、支出内容、支出金額その他必要な事項について定めています。

■ 責 務

議長交際費の支出にあたっては、支出内容や相手方について、社会通念上必要と認められる範囲内で、かつ最小限の金額となるよう努めています。

■ 支出項目

支出項目は、祝金、寸志、賛助、香料、餞別、見舞、謝礼、接待、会費、書籍購読、その他の11項目とし、支出内容及び支出金額は以下のとおりです。

項 目	内 容	金額(円)
祝 金	市議会、市関係団体等の催す祝、記念行事に対する祝金	5千～1万
寸 志	市議会、市関係団体等の催す行事、総会、新年会等に対する支出	5千～1万
賛 助	チャリティを主とする公益的な催し及び教育・福祉等の振興に寄与する催しに対する賛助 新聞、雑誌等の特別企画に対する賛助	5千～1万
香 料	市議会、行政関係者及びそのご家族の方々の葬儀に対する香典、生花代	1万～3万
餞 別	海外派遣、全国大会等の大会出場に際しての餞別金	1万～3万
見 舞	市議会、行政関係者の傷病、災害に対する見舞	1万
謝 礼	市議会に協力いただいている方々等に対する礼儀的な謝礼	記念品等実費
接 待	海外来訪者の歓迎接待及び市の利益のために行われる対外的な接待や交渉に伴う懇談会経費	1万程度
会 費	市議会の円滑な運営に有効な研修会及び人的交流を持つ会への参加費など	会費相当額
書 籍 購 読	市議会の円滑な運営上必要と思われる書籍の購入や購読書等にかかる支出	実 費
そ の 他	上記のほか、市議会の円滑な運営に効果があると認められた場合等の支出（名刺・土産など）	相 当 額

* 以上によるほか、議長が特に必要と認める場合や他市町村との関連がある場合は、調整して支出します。
また、各種行事等に対する祝電や弔電については、その都度検討し対応します。

平成23年度 議長交際費支出状況

平成23年4月～23年9月（単位：円）

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	8	106,910
① 御祝・寸志	2	50,000
② 餞 別	1	20,000
③ 香典・供物	5	36,910
2 協 賛 費	15	89,350
3 会費・懇談会費	12	75,000
4 そ の 他	17	92,092
合 計	52	363,352
平成23年度予算額		1,400,000
執 行 率		25.95%

平成22年度 議長交際費決算額

平成22年4月～23年3月（単位：円）

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	23	463,230
① 御祝・寸志	14	333,150
② 餞 別	1	20,000
③ 香典・供物	8	110,080
2 協 賛 費	23	107,540
3 会費・懇談会費	18	186,500
4 そ の 他	27	263,038
合 計	91	1,020,308
平成22年度予算額		1,400,000
執 行 率		72.88%

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、小矢部市立岩尾滝くつろぎ交流館条例の施行にあたっては、設置目的である市民相互の交流の場の提供という観点から、公正・公平な利用を促し、多くの市民に愛される施設とするため、利用にあたっての細部について規則等で規定すること。また、透明性を第一とすること。

二点目は、大規模地震災害等の各種災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の総合防災訓練は、組織的に災害対応能力の向上が図られるよう努めることはもとより、市民が正しい知識を身につけ、日頃から具体的な「備え」や被災時に的確な行動について考える機会となるなど、市民の安心安全を確保する上で極めて重要であり、訓練実施内容を検討し、非常時

に生かせるものとする。

また、本市において、災害備蓄品リストの市民への公表をはじめ、計画的な災害備蓄品の管理体制の整備を図るとともに、災害時における家庭用の備蓄品を積極的に広報すること。

三点目は、地方税の重要性が増す中で、地方における税務行政は、税負担の公平性を維持し、税収入を確実に確保するために、執行体制を強化することが求められ、これまで以上に適正で効率的な事務執行が必要となっているが、本市の市税の滞納額は3億円を超えており、誠に憂慮すべき状況にある。

こうした中で、市税の滞納額を効率的に縮減するためには、市の徴収債権を一元化し滞納整理に当たることが最も効果的であると考えられることから、早急に体制を構築し、全庁挙げて市税徴収率の向上への取り組みを実践すること。

産業建設常任委員会

一点目は、小矢部市観光協

会は、市のイメージアップや観光産業の振興、観光客の誘致増大に著実に実績を上げている。

今後さらに、木曾義仲・巴御前を主人公としたNHK大河ドラマの誘致活動とあわせて、小矢部市の自然や歴史、文化、祭り、イベント等の観光の魅力を全国に向けて発信し、誘客増大と観光産業の振興を強力に推進していくことが不可欠である。

国の雇用対策事業交付金が今年度で終了することから、今年度の観光協会の事業に次年度の観光協会の事業に支障の無いよう、小矢部市としての財政的な援助に十分配慮すること。

二点目は、農業特産物推進協議会は、農産物販売を通じて本市の農業の発展と農家及び営農組織の育成に繋がっている。特産物振興の観点から、メルヘン米をはじめ、本市の農産物及び農産加工品を生かした農業特産物のPR活動や消費地・消費者との交流等を通じて、販売促進を進めることが必要である。

国の雇用対策事業交付金が

今年度で終了することから、今後の農業振興及び農業者育成に支障の無いよう、小矢部市としての財政的な援助に十分配慮すること。

民生文教常任委員会

一点目は、「子育て支援ミニ文庫」事業の実施により、保育所、放課後児童クラブ、幼稚園、公民館などに図書等を購入し、乳幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを整備しているが、読書は、子どもが言語を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く創造性に富んだ力を身につける上で欠かすことができないものであり、その事業効果を検証し、その利活用の積極的な取り組みを実践すること。

また、学校図書館についても、司書教諭や全ての小・中学校に配置された学校図書館司書を中心に、十分機能するよう整備・拡充に努め、読書を楽しむ、豊かな感性や情操を育むことができるような

読書へと質を高める取り組みを実施すること。

二点目は、平成二十二年一月の小矢部市博物館施設等整備検討委員会の検討結果によると、市内に点在する展示機能を備えた博物館等施設について、施設毎の役割を見直しし、可能な限り集約化するとともに、それぞれの施設の機能充実を図ることが報告されている。その中で桜町遺跡については、出土品の保管・展示場所の集約化を図るため、小矢部ふるさと歴史館の展示スペースを拡張し、常設展示室を整備するとの整備方針が示されている。このことから、新たな「桜町縄文遺跡展示館」の出土場所での建設については、要望は理解できるものの用地並びに財源の確保はもとより、将来的な維持管理経費等を踏まえた上で、市勢総合計画に位置付けなければならず、将来の再調査の可能性、出土品の国重要文化財の指定を見据えて慎重に対応すること。

会 務 報 告

平成23年6月10日から平成23年9月6日まで

年 月 日	件 名	摘 要	開 催 地
23.6.14	県選出国会議員との懇談会	10市からの事業要望	東京都
6.15	全国市議会議長会第87回定期総会	表彰・報告・議案審議	東京都
6.29	小矢部川中流水害予防組合議会定例会	平成22年度事業報告及び決算報告 平成23年度事業計画及び予算案	特別会議室
6.30	一般国道8号整備促進期成同盟会総会	報告・議案審議	高岡市
	主要地方道小矢部・伏木港線改修期成同盟会総会	報告・議案審議	高岡市
7.1	高岡地区広域圏事務組協議員協議会	高岡地区広域圏ごみ処理施設建設事業について	高岡市
7.4	平成24年度重点事業要望	富山県庁ほか	富山市ほか
7.5 ～7	産業建設常任委員会行政視察	・第6次産業の取組状況及び大河ドラマ観光効果について ・第6次産業の取組状況及び映画ロケ地観光効果について ・食の循環によるまちづくりについて	山形県米沢市 山形県酒田市 新潟県新発田市
7.6 ～8	民生文教常任委員会行政視察	・いきいき健康づくり計画について ・地域に根ざした食教育の推進について ・図書館活用教育について	新潟県見附市 秋田県由利本荘市 山形県鶴岡市
7.11	平成24年度重点事業要望	国土交通省北陸地方整備局	新潟県新潟市
	総務常任委員会行政視察	能登半島地震について	石川県輪島市
7.13	平成24年度重点事業要望	国土交通省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国会議員等	東京都
7.14	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	報告・議案審議	津沢コミュニティプラザ
7.15	まちづくり特別委員会	所管事務調査について	第二委員会室
7.19	産業建設常任委員会	「俱利伽羅源平の郷殖生口（地域振興棟）」の改修・出店業者募集他2件について報告	第二委員会室
7.20	国道471号整備促進期成同盟会総会	報告・議案審議	砺波市
	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	報告・議案審議	高岡市
	総務常任委員会	小矢部フロンティアパークの分譲価格の改定他1件について報告	第二委員会室
7.21	砺波地域消防組協議会定例会	・組合定数条例の一部改正について ・財産取得契約議案2件について	砺波市
7.25	7月全員協議会	おやべ遊・湯スタンプラリー事業の実施について報告	第二委員会室
7.26 ～28	議員運営委員会行政視察	・自治基本条例の取組状況について ・議会改革の取組状況について	長野県小諸市・ 長野県飯田市
7.29	議会だより編集委員会	第162号（8月号）の発刊について	第二委員会室
8.2	民生文教常任委員会	おやべメルヘンかるた作製記念大会 他1件の報告について	第二委員会室
8.3	国道359号改修促進期成同盟会通常総会	報告・議案審議	砺波市
8.4	庄川・小矢部川改修促進期成同盟会総会	報告・議案審議	高岡市
	岸渡川改修促進期成同盟会総会	報告・議案審議	高岡市
8.10	利賀ダム建設促進期成同盟会通常総会	報告・議案審議	砺波市
8.11	富山県日韓友好議員連盟理事会・総会	報告・議案審議	富山市
8.19	砺波地方介護保険組協議会運営委員会	8月定例会の日程等について	砺波市
8.24	8月全員協議会	市制50周年記念式典実施日及び実施場所他4件の報告について	第二委員会室
	平成24年度重点事業要望	JR西日本金沢支社	金沢市
8.25	北海道沼田町友好姉妹都市交流	沼田町友好姉妹都市提携10周年式典・第35回記念夜高あんどん祭り前夜祭	北海道沼田町
8.26	富山県市議会議長会臨時総会	報告・議案審議	高岡市
	富山県知事との懇談会	県政報告・各市要望	高岡市
8.29	砺波地方介護保険組協議会定例会	・特別会計補正予算2件 ・平成22年度一般会計・特別会計決算認定4件等について審議	砺波市
	議会運営委員会	9月小矢部市議会定例会議案第37号から議案第41号、認定第1号から認定第8号の発言通告、採決方法及び陳情（2件）付託について審議	第二委員会室
8.31	北陸電力志賀原子力発電所の現地視察	・津波に対する安全強化策等についての概要説明 ・志賀原子力発電所2号機等の視察	石川県志賀町
	砺波地方衛生施設組協議会定例会	平成22年度一般会計決算認定について	高岡市



旧岩尾滝保育所が改修され、若い世代とお年寄りが、ともに集い活動することができ「岩尾滝くつろぎ交流館」が設置されました。地域住民のコミュニティづくりのみならず、生涯学習の拡充のための環境づくりにも、大いに寄与するものと考えています。この施設が、多くの市民に親しまれ、積極的に活用されることを大いに期待します。

9月定例会において、議会だより編集委員の構成を新たに考えました。わかりやすく、見やすい紙面作りに努め、議会の状況を市民の皆様にお伝えしていきたいと考えております。

次回の「議会だより」は、平成24年2月の予定です。
(議会だより編集委員一同)